

# 特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩 2016年度通常総会 報告

日時：2016年5月29日 14時から15時5分まで  
会場：東京都国分寺労政会館 地階 第1会議室

司会：手嶋孝典(事務局)

## 1 理事長挨拶

設立から9年目を迎え、(株)カーリルとの共同研究の成果として、多摩デポのHPで新しい検索システムを発表することができた。

都立多摩図書館の移転が今年度内に予定されており、そちらへの働きかけも行っている。今年度は「新生多摩デポ」の出発の年になるだろう。

## 2 総会成立(定足数)の確認

正会員総数：93(個人90名、団体3団体)

定足数(正会員総数×1÷2)：47

出席者17、委任状出席43、合計60で定足数を満たしており、総会は成立。

## 3 議長の選出

事務局に一任。

座間直壯氏を選出。

## 4 議長挨拶

配布している次第により進めていきたいので、議事進行に協力を願う。

## 5 書記及び議事録書名人の選出

議長の指名による。

書記：雨谷逸枝氏

議事録署名人：室谷好美氏、吉田光美氏

## 6 議事

### (1) 第一号議案 2015年度事業報告承認について

説明(堀 渡 事務局長)

※議案書(事前に郵送配布)に沿って説明

- ・(株)カーリルとの共同研究の成果として多摩デポのHP上に公開したシステムの検証及びレベルアップのための研究を進めている。
- ・図書館資料の里親探しについては、今年度は問い合わせ・申込みとも無かった。
- ・今年度は、ブックレットの発行は行わなかったが、2012年度総会時の

パネルディスカッションを資料集として編集中。「多摩デポ通信」は、第35～38号を発行。

- ・多摩デポ講座は、けやき出版会長の清水定氏の「多摩で35年間、出版社をやってきた」とジュンク堂難波店店長の福嶋聡氏の「紙の本は、滅びない」を開催。福嶋氏の講演は、ブックレット化を進める。見学会1回（一橋大学の「経済研究所資料室」「附属社会科学統計情報研究センター資料室」「附属図書館」）を実施した。
- ・第17回図書館総合展で、堀理事が小講演を行った。
- ・「多摩地域公立図書館大会」では、「多摩デポ講座」と「多摩デポブックレット」のチラシ配布のみ行った。
- ・東京都立多摩図書館の移転にあたり、理事長が都立中央図書館を訪問し、共同保存事業の検討・実施について要望を伝えるなど意見交換を行った。
- ・ホームページの刷新・充実は、体制が十分に取れず、情報の更新・提供にとどまった。
- ・会員の退職等を機にした退会やご逝去が続き、会員数が減少傾向にある。
- ・東日本大震災被災図書館の内、陸前高田市立図書館について会員からの相談があり、レファレンス本と児童書の寄贈計画について、調整を進めた。
- ・2016年3月より読売新聞多摩版コラム「週刊たま手箱」に「NPO法人共同保存図書館・多摩」として執筆することになり、これまで2回掲載。

質疑 なし  
採決 拍手多数（承認）

## (2) 第二号議案 2015年度決算報告及び監査報告承認について

説明（田中ヒロ 会計）

- ※議案書に沿って説明。（議案書送付後の資料差替えについて説明とお詫び）
- ・クロネコヤマトのメール便が廃止になり、割高のクロネコDM便に変わったが、少し低額の郵便局のゆうメールを使うなど、通信費節約の工夫に努めている。
- ・今年度も、人件費の支出は行わず、毎週事務所に行く事務局員の交通費のみ支払い。
- ・ブックレットは、少数とはいえ引き続きバックナンバーも売れている。
- ・講演会収入は、福嶋氏講演の参加者が多かったため増えた。

監査報告（国分一也 監事）

※配布資料「監査報告書」

適法適正に執行された旨報告があった。

質疑 なし  
採決 拍手多数（承認）

## (3) 第三号議案 2016年度事業計画決定について

説明（堀渡 事務局長）

※議案書に沿って説明

- ・(株)カーリルとの共同研究を一層進めて精度向上を目指すとともに、普及活動をしていく。ISBNなしデータの同定作業についての検索作業は、依頼に応え請け負っていく。
- ・里親探しは、これまでとは異なる事業展開を探る。
- ・「多摩デポ講座」は、見学会を含め3回開講し、70人規模の講座も計画する。
- ・各図書館での稀少資料確認が容易にできるようなデータベース作成についても(株)カーリルとの共同研究で進めていく。また、ISBNなし資料の横断検索については、引き続き援助を請け負っていく。図書館資料の里親探し事業も継続して取り組む。
- ・「東京都多摩地域公立図書館大会への協力・参加」には、継続して取り組むとともに、多摩デポのテーマと合致する集会等に積極的に参加する。
- ・館長協議会の共同利用図書館検討プロジェクトの調査・研究に協力する。新都立多摩図書館が長期的視点に立った広域図書館行政を進めるよう要望・提言を続ける。
- ・多摩デポ通信は年4回発行、記事索引の更新を継続させる。
- ・多摩デポブックレット第11号、2012年度通常総会パネルディスカッションを中心とした資料集を作成する。
- ・東日本大震災の被災図書館の支援については、要請に応じて取り組んでいく。

質疑

Q：熊本地震についての対応は、どのように考えているか？

A：JLAの図書館災害対策委員会が2回にわたって視察調査をした。近々そのまとめと今後の支援についての検討が行われる。施設・設備の被害や資料落下が多数あり、配管破損による水損資料も一部で発生しているものの、現時点では貴重書や地域資料のレスキューを求めているという情報はない。津波による資料被災があった東日本大震災とは異なり、多摩デポがレスキューを求められるような状況ではないようだ。

採決 拍手多数（承認）

(4) 第四号議案 2016年度活動予算決定について

説明（田中ヒロ 会計）

※議案書に沿って説明

- ・70名規模の講演会を開く計画のため、参加費収入・講師謝礼を計上
- ・ブックレット第11号発行のための経費計上

質疑 なし

採決 拍手多数（承認）

- (5) 第五号議案 特定非営利活動促進法の改正等に伴う定款の変更について  
説明 (吉田光美 事務局員)  
新旧対照表に沿って説明

#### 質疑

Q：本日配布の定款は改正前の旧定款だが、改正後のものは用意されていないのか。

A：本日の総会決定後、東京都に認証申請を提出。諸々の手続きを経て認証が下りれば決定となるので、会員の皆さんにもお届けする。

#### 採決

拍手多数 (承認)

### 7 議長及び書記の解任

### 8 閉会

以上

なお、総会終了後、カーリルとの共同研究による蔵書確認システムの名称について、次のとおり発表があった。

TAMALAS (ヨミ：タマラス) 「多摩でラスト1を検索する」の意  
正式名称は、「多摩地域公共図書館蔵書確認システム」

(英語名：Tama last 1・2 books check system for public libraries)

\*その後、英語名については確認中